

## 平成 16 年度木更津市地域 IT 推進会議報告書

### はじめに

情報通信技術の進展やブロードバンド（高速情報通信基盤）の拡大を背景として急速に普及したインターネットは、世界中へあらゆる情報を瞬時に流通させることを可能としました。このことにより地域における様々な構成員（市民・企業・団体等）が情報の受発信者となり、オープンな情報交流や地域外への情報発信が積極的に行われています。また、インターネットは、地域課題への解決の糸口や市民生活の向上、ひいては地域経済の活性化へも大きく貢献しており、活力ある個性豊かな地域社会の構築に寄与する手段・方策として、今日広く利用されております。

しかしながら、その一方で、インターネットを活用した情報の受発信量においては地域間競争の問題も発生しております。大都市圏のように莫大な情報量が受発信される地域と比べ、未だ情報のデジタル化が進まない地域にあつては、市民生活やビジネス活動における利便性はもとより、集客交流産業や企業誘致、定住促進など今後のまちづくりに支障をきたすことが懸念されています。

そこで、本年度の地域 IT 推進会議では、これまでの成果（ブロードバンド化の促進や IT 人材育成組織の立ち上げ等）を踏まえ、情報化による地域再生を強力に推し進める観点から、地域情報化計画の基本方針の一つである「情報化による地域活性化」を引き続き最優先の課題として掲げ、その方策として、市民や事業者、NPO をはじめとする各種団体との連携のもと、木更津地域における様々な情報のデジタル化とデータ化を進め、統合的な地域情報を受発信する「木更津版地域ポータルサイト（ウェブサイトの玄関口）のあり方」について多角的な観点から議論を重ねました。

本会議は、この「木更津版地域ポータルサイト」を木更津市の優先的な情報戦略として捉え、これまでの検討の成果を提言いたします。

今後は、本提言の実現に向け、行政の支援や働きかけをお願いするとともに、市長の標榜する「元気な木更津」に向けた地域の情報化が着実に推進されることを期待致します

平成 17 年 3 月 18 日

平成 16 年度木更津市地域 IT 推進会議 委員長 土屋 俊

## 1. 基本的な考え方

地域ポータルサイトは、高度情報化社会に対応したまちづくり方策の一つとして、市民生活分野における利便性の向上や情報リテラシー（読み書き能力）の向上に資するとともに、市民や事業所、NPOをはじめ各種団体等による情報交流の活性化、そしてビジネス分野においては、インターネットを活用した様々な地域サービスのマーケット創出、コンテンツ産業（インターネットで入手する情報を作る産業）に対する需要創出等に大きく寄与しており、地域における情報化の推進や情報受発信機能の強化につながるツール（道具）として期待されています。

そこで、木更津版ポータルサイト構築にあたっては、新たなバーチャルコミュニティ（仮想の地域社会）をインターネット上に創造することで、情報化時代にふさわしいITを活用したコミュニティ意識の醸成を進め、情報受発信機能を強化した活力ある地域づくりに向けた地域振興を狙いと致しました。

このため、本ポータルサイトについては、東京都市圏から見た木更津の立地特性や、点在する様々な地域資源等を活用し、情報化による地域振興策の支援ツールとして捉えています。地域課題の解決に向け、どのようなコンテンツ（地域情報）を優先的に掲載すべきか、さらに、これらコンテンツを束ね魅力あるサイトとして、いかに継続的に運営していくかについて併せて検討したところでもあります。

## 2. 地域ポータルサイトのコンテンツ～優先的に掲載すべき地域情報～

「元気な木更津」の実現を目指すため、地域ポータルサイトのコンテンツについては、新たな地域イメージを創出させるような情報戦略を基本として、第1に木更津工業高等専門学校をはじめ、多数の高等学校等の学生や若者にとって魅力ある地域となるような様々な情報、第2に東京湾アクアラインを活用した東京都市圏との近接性や利便性の高い交通アクセス性に関する情報、第3に東京都市圏のベッドタウンとしてふさわしい定住促進に向けた情報、第4に南房総におけるゲートウェイとしての観光情報、第5に新鮮な食に関する情報とともに市民ニーズの高い地域医療や福祉をはじめとする市民生活に密着した情報、第6にビジネスを展開する上で不可欠な情報、以上が優先的に掲載すべき情報であるとの結論に至りました。

また、これらコンテンツの編集にあたっては、市民をはじめとする利用者の高いニーズや利便性に配慮することが何よりも重要となり、利用者が望む地域情報やサービスが豊富でわかりやすいことが求められます。

このため、地域における公的機関、民間事業者、NPOをはじめ各種団体等の連携のもと、ワンストップサービス（地域情報の統一化によるサービス提供）の

実現をめざすことが肝要となります。特に、地域ポータルサイトは、行政のポータルサイトを優先的に活用する一方、行政ポータルサイトでは扱わない情報でかつ地域として必要不可欠な情報については、優先的に掲載することとします。

また、市内の地域情報のリンク一覧やビジュアル集（動画・音声等）を提供するなど、木更津をPRする様々な情報をわかりやすくカテゴリ化し提供することも重要となります。

### 3. 地域ポータルサイトの運営方法について

地域ポータルサイトの構築にあたっては、優先的なコンテンツの検討と同時に運営主体について、どのような形態が最も望ましいのか、地域の実情に即し慎重に議論を重ねてまいりました。その結果、魅力あるサイトの構築や運営については、継続的な運営資金の確保のもと、特殊な技術・ノウハウ・センスを有する専属的体制が重要なこと、また民間情報を取扱うことから営利分野への対応が不可欠となり、柔軟性や創意工夫とともに独自性等を十分発揮できる民間主体が望ましいとの結論に至りました。

このため木更津ならではの特色あるポータルサイトの構築及び運営は、地域特性を踏まえた地域資源（人・もの等）の積極的な利活用を進める観点に立ち、南房総の学園都市としての新たな地域イメージの創出、さらに再生に向けたまちおこしに学生や若者を参画させる仕掛けづくりを実現するため、民間組織と、地域振興等を目的とする「木更津高専テクノセンター」との連携方策を検討致しました。

その結果、今後の高度情報化社会に対応したまちづくりの担い手として、高校生等を中心とした若年層を対象にITスキルの育成を進め、IT関連産業の集積や地域産業への高度化に幅広く貢献するという観点に立ち、「木更津高専テクノセンター」を拠点とした高等学校等との連携方策により、ポータルサイトの企画運営に学生を参画させることは十分可能であるとの結論に至りました。

今後の地域間競争に打ち勝つためには、学生が創造する斬新なアイデアと実践を通じて培われるITスキルにより、紙媒体等配布されている地域情報のデジタル化を早急に進める必要があります。

さらに地域ポータルサイトの管理運営については、地域情報化戦略の有効な道具（ツール）と認識していることから、官民連携に基づく体制や計画づくりが望まれているところであります。このうち、行政の役割は、大変重要であり、地域ポータルサイトとしての認知度を高める役割を担うことや関係機関等への普及に向けた旗振り役、そして民間主体による運営が軌道に乗るまでの初期の段階における資金調達支援等が求められます。

## おわりに

ブロードバンドの普及により、テレビ、ラジオ、新聞、映像等の従来メディアの大半がインターネットにより視聴できる通信環境が整備されつつあります。

このようななか、インターネットの優位性〈だれでもいつでもどこでも見られる、時間や空間に縛られないというユビキタスな特性〉を活かしたまちづくり戦略として本ポータルサイトを展開していくことが、高度化する情報化時代にふさわしい個性豊かで魅力あふれる木更津の再生を強力に推し進めるものと確信しております。

どうぞ、本提言が、準備会等の立ち上げ等により早急に具体化されるよう心から切望いたします。

## 平成 16 年度木更津市地域 IT 推進会議委員

委員長	千葉大学 文学部行動科学科 教授 情報科学専攻 認知情報科学等兼務 同学学長補佐 同学国際教育開発センター長	土屋 俊
委員	オークラアカデミアパークホテル 支配人室営業企画・広報担当	伊豆川 菜穂子
	高倉農産物直売センター オーナー	岡本 勇
	(株)イーエスケイ 代表取締役	小俣 康之
	社会福祉法人 慈心会 木更津南清苑 総務部次長	隈元 志豊
	(株)フジテレビジョン 事業室事業部	桑田 靖
	木更津工業高等専門学校 助教授	鈴木 聡
	イーピーエム不動産(株) 代表取締役	鈴木 政晴
	学校法人君津学園 副理事長 副校長	真板 竜太郎
	NPO 法人 孫の手くらぶ 理事長 テレワークセンターワーカー協議会 会長	丸尾 進三郎

## 会議開催経過

平成 16 年 10 月 7 日	第 1 回地域 IT 推進会議	地域における課題や資源の整理について
平成 16 年 12 月 14 日	第 2 回地域 IT 推進会議	優先的に掲載すべきコンテンツ及び運営方法について
平成 17 年 2 月 4 日	第 3 回地域 IT 推進会議	木更津版地域ポータルサイトのあり方について